

---

# バーバラ・アレン

\* 麻桜 \*

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バーバラ・アレン

### 【Nコード】

N5676D

### 【作者名】

\*麻桜\*

### 【あらすじ】

母が死んだ次の日にブチはうちにやってきた。頑固な父が拾ってきた猫。そんなブチは母のように父を慰めてくれたのだろうか。母は幸せだったのだろうか。

ブチがうちに来たのは母のお葬式が終わった次の日だった。ブチは既に大人で、父が喪服姿のままぶらっと出かけて拾ってきた猫だった。

体に大きなほくろのような斑点が一つあり、父は既に「ブチ」と呼んでいた。

暑い夏の日で、セミがうるさい日だった。

ようやくお葬式の片付けが終わり一息ついてた私は父の笑っている姿に驚き、少し腹立たしくもなった。

母は家族のためにすべてを尽くした人だった。

頑固者の父に21歳で嫁いだ母は、一度も仕事をさせてもらえなかった。

女は家を守るもの、これが父の口癖だった。

いわゆる田舎ものでどうしようもなく何もできない父を、母は文句

一つ言わず家を守り抜き、そして死んだ。

「どうしたの？その猫」

父に問いかけると

「拾った」

とぶっきらぼうな返事が返ってきた。

「子猫でもないのに、飼うつもりなの？」

私の問いかけに父は何も答えなかった。

母は自分の人生に満足していたのだろうか。

そう思うと情けないやら悔しいやらでいっぱいになった。

父との生活は母にとってどんなものだったのだろう。

いい服もいいバッグも、美容院にさえ行かせてもらえずまるで牢屋に入れられた犯罪者のように、父は母をがんにがらめにしてた。

私が結婚する時、母に言われた事がある。

「自分の信じたようにやりなさい。そして、幸せになりなさい」

母は幸せだったのだろうか。

母の幸せとはあんな生活だったのだろうか。

母への思いを馳せ父の方を見ると、父はブチの背中を撫でながら軽い鼻歌を歌っていた。

『バーバラ・アレン』

スコットランドの民謡でバーバラという少女を愛した男が死んでしまい、その男性を愛していたバーバラも後を追って死んでしまうという歌。

どこでこの歌を知ったのか、父の鼻歌はまさにこの歌だった。

父は笑ってなんかいなかった。

母の代わりであるかのように、ブチを抱きしめ、歌うことをやめなかった。

かすれた声でうつむきながら。

母がいなくなってから、父の生活はみじめなものになってしまった。家事を一切した事のなかった父は自分一人では何もできず、私と妹のどちらかがなるべく実家にいられるようにした。

そんな私たちにも父は「早く旦那さんのところへ帰りなさい」とその言葉だけ繰り返し返すのだった。

縁側でぼく々と空を見つめたり、ボロボロになった古い本を出して読んでいるかと思えば寝室から全く出てこない日もあった。

そんな時、唯一ブチと過ごしている時間だけ父が生き生きしているように見えた。

私は、まだ少し父を許せないでいた。

そんな父も去年死んでしまった。

母を追いかけるように、母が死んだ次の年に。

心臓発作だった。

父の書斎に入ると、いつも読んでいた一冊の本が目についた。  
何気なく手にとってみると本の裏表紙に母の字でこう書いてあった。  
「愛を込めて・・・あなたへ」

母は幸せだった。

窮屈な生活でも、父と一緒にいられることが母にとって何よりの幸せだったのだ。

私は涙をこらえながら『バーバラ・アレン』を口ずさんだ。

愛し合う二人のように、同じ墓で永遠に眠ってもらおう。

「バラのツタは決して解けない愛の絆」

父と母の物語は、決してロマンティックなものではないけれど、この曲と共に一生胸に刻んでいこう。

私の足元でじやれているブチを抱き上げてぎゅっと抱きしめると、父の匂いがした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5676d/>

---

バーバラ・アレン

2010年12月26日14時14分発行